

ライチ便り No. 11

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2010年12月号～
<http://lychee-club.jp/>

気がつけば今年もう師走、気ぜわしい時期になりました。日頃に輪をかけてお忙しいことでしょうか、ちょっと仕事の手を休めて“ライチ便り”をご覧ください。

11月22日～27日、広州で行われた第16回アジア協議大会は成功裏に終わり、12月には引き続きアジアのパラリンピックが開かれています。尖閣列島問題で日中間に緊張がはした時期の開催でしたが、不愉快なできごとなく終わって良かったなど安堵しています。

私たちの小さな交流で培われる福岡広州の友情が、両国間のとげとげしい相互不信の空気を少しでも和らげる力になればと願ってやみません。

両市女性交流の覚書に調印

9月22日～24日、糸山マチ子会長を団長とする「福岡市女性翼の会訪問団」が広州を訪問し、広州市婦女連合会との間で、今後の交流をめざす覚書の調印式を行いました。



広州花園酒店の一室に設けられた舞台には、花を飾った机が用意されており、李建蘭主席と糸山会長がそれぞれ挨拶をして友情のエールを交換したあと、覚書にサインをしました。

昨年5月のどんたぐに広州市の女性6人が参加して、女性交流の再開が提案されてから、7月にはライチ狩りに参加した翼の会のメンバーが婦女連合会を訪問して相互交流の意向を確認後、本格的な準備が始まったのです。覚書の文案を検討し、訪問の日程を何度も調整しあって決定し、団員募集、数回の事前研修記念品の準備と進めて、やっとこの日を迎えたのです。



出発も近づいた頃、尖閣列島をめぐる日中交流に暗雲が漂いました。でも双方ともやる気満々。23日の調印式と昼食会はとてもいいムードのうちに実施されました。

日本語を少し学んだことがある李主席はまだ日本へ行ったことがないとのこと。「来年は是非福岡でお会いしましょう！」糸山会長は福岡での再会を期待して、堅い握手を交わしました。

第4回飲茶会を行いました

11月23日、勤労感謝の日に飲茶会を行いました。
今回は点心づくりの先生なし。「これまでの経験で何とかやってみよう」と、インターネットで見つけたレシピを見ながら、参加者の自力で点心づくりに挑戦しました。
参加者は32人。広州からの留学生・研修生も6人参加しました。

大根餅づくりを担当した男性4人は、料理の経験の少ない日本人と包丁を握ったことがないという広州人留学生でした。「中国人男性は皆料理が上手」と思っていたので、ビックリ。この面々に鬼おろしで大根を擦る代わりに包丁で細かくみじん切りにしてもらったのですが、初めはとても危なっかしい包丁さばきだったのが、終わる頃には随分上達して、スピーディになっていました。

家では一切料理をしないという焼きビーフンを担当した男性は、1回目からずっと飲茶会で点心づくりに参加してきたせいか、とても手慣れた様子です。「女性翼の会」のメンバーが毎回全体をリードして下さっていますが、男女共同参画社会を目指す翼の会の主旨にぴったりの姿が、ここに見られるわけですよネ。

6時半からの交流会は話と食事に花が咲いて、後ろの壁に流していた広州アジア競技大会開幕式の映像を誰も見ていなかったようです。(ちょっと残念)



皆さまどうぞ良いお年をお迎え下さい！

- * 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
- * 今年度会費の振込をお願いします。個人：5000円 団体：一口10000円 です。
- * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。
連絡先：info@lychee-club.jp または chiba.y01@city.fukuoka.lg.jp